

クラブの成長

ロータリアン一人一人の向上 会員増強

国際ロータリー第2580地区
2023-24年度ガバナー

栃木 一夫

石川ガバナーエレクトと記念撮影
@栃木年度キックオフパーティー



相田みつをさんの詩に以下のものがあります。

花を支える枝 枝を支える幹

幹を支える根 根は見えねんだなあ

この詩を聞くとロータリーの樹が連想されます。「一番樹木にとって大切なのは根っこですね。その根っこは見えません。その見えぬ根っこを自分にとってはですね、いくつもあると思うんですよ。まず両親を中心としてずっと辿っての先祖ですね。」相田さんは、ラジオでこのように語っていました。また、彼の一番の根っこになっているのは、40数年間在家のまま師事してきた武井哲應老師（足利市高福寺住職）の教えだと話していました。その教えの一つに道元禪師が説いた「正法眼蔵」からの引用があります。

霧露(むろ)の中に行くがごとく いつぬるとも

覚えざれども 自然に衣のうるほうが如くに

霧の中若い修行僧が歩いていると気が付いてみたらしっとりと自分の衣が濡れていた。その僧はこの霧に濡らしてもらおうなんて言う意識が微塵もなかった。霧の方はこの僧の衣を濡らしてやろうという意識もない。しかし長いこと霧の中を歩いていたら、あるとき、ふと気がついてみると衣がびっしょりと濡れていた。「それが本当の教化だと思うんですね。簡単な言葉で言えば教育です。ですから本当の意味の教育というのは大声を張り上げたり特別な講義をしてそれだけで終わり、というのではなくて、普段の生活の中でジワリジワリと浸透して身体全身に沁み込んでいくような、それが仏法の本当の教育だと思うんです。」

また伊丹RCの深川純一PG(1990-91年度第2680

地区ガバナー)が福岡北RCの例会で、次のような例え話をしたことを聞いたことがあります。「昔、スイスの片田舎にお婆さんが住んでいました。お婆さんは箆に羊の毛を入れて小川で洗っていました。そこに神父さんが通りかかり『お婆さんは毎週教会に来て私の説教を聴いているので、さぞ物知りになられたでしょうね』と尋ねました。お婆さんは「聴いてもすぐに忘れてしまうので、何も残っていません。然し、私はそれで良いと思っています。神父さん、箆の中を見て下さい。水は入っては流れ、入っては流れていますが、箆の中の羊の毛はこんなに綺麗になって行きます。私は神父さんの話を聞いては忘れ、聴いては忘れていますが、私の心は、少しは綺麗になって行くと思います。」と答えたそうです。

私の入会当初「ロータリーというのは100人いたら100通りのロータリーがある。」という言葉をよく聞きました。『入りて学び、出でて奉仕せよ』奉仕の実践ができるようになるため、クラブ内での活動や奉仕をまずしなさいということだと思いました。ロータリークラブへ入会すると、いつのまにか「奉仕の心」や「ロータリアンの心」という養分を例会やクラブでの活動から知らず知らずのうちに吸い取って、自然と霧に濡れるように、水で洗われるように、何時の間にか自己研鑽や自己改善していくのでしょうか。それぞれ違う根っこを持つ多様な会員との好意と友誼が質の高い太い幹、大きな花を咲かすのではないのでしょうか。「会員増強」「クラブ拡大」は元気なクラブの実現に欠かせない養分です。

日本古来からある職業奉仕の精神

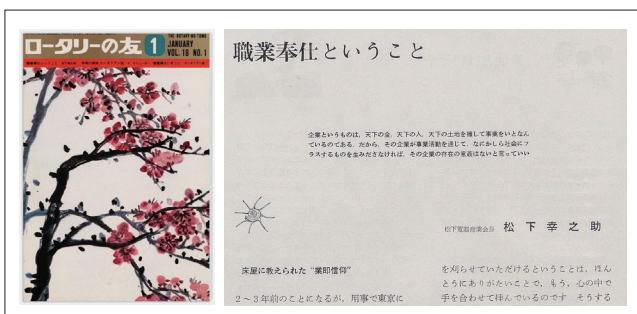
地区職業奉仕委員長 志熊 昌宏（東京後楽 RC）

●第 2580 地区の職業奉仕とは？

2023-24 年度、地区職業奉仕委員長を拝命するにあたり、「職業奉仕は当地区の金看板」、「職業奉仕はロータリーの 1 丁目 1 番地」、「故佐藤千寿 PG の職業奉仕の精神を地区のロータリアンに伝えることが勤め」等、諸先輩方から、たくさんのアドバイスを受けました。当地区における職業奉仕の重要性・重さを再認識するとともに、改めて委員会の重責を認識いたしました。また、今年度は「環境保全委員会（大竹章裕委員長 [東京紀尾井町 RC]）」が職業奉仕委員会の被包括委員会となりました。本年度は「地区ロータリアンの会社それぞれで「SDGs」を推進していただくこと」とのガバナーの方針により、どのような方針で委員会を運営し、地区内各クラブのお手伝いをさせていただこうと検討を進めておりました。その時、2017 年 2 月に第 2790 地区（千葉県）で受けた「RLI Part1」での職業奉仕セッションでのことを思い出しました。その時私は大胆にも「アメリカ発祥の職業奉仕の概念は日本には必要ない。日本には古来から受け継がれている、職業奉仕の概念がある。」と発言し、加えて「近江商人の三方良し」などの話をしました。そのセッションで、皆さんが私の意見に納得して頂いたことを覚えています。そこで、今年度の地区職業奉仕委員会の方針として以下の 2 点を推進して行きます。

①松下幸之助翁と日本古来からある職業奉仕の考えと江戸時代のもを大切にす環境に優しい生活

松下幸之助翁は、約 50 年前、「職業奉仕ということ」をロータリーの友に寄稿されました。この中で、翁は二つの観点から、職業奉仕の考え方について、実例を挙げて語っています。（詳細は「ロータリーの友」1970 年 1 月号参照）この投稿の内容とともに、日本古来からある職業奉仕の考えをご紹介します、皆さんに職業奉仕の考えをご理解いただきたいと思います。また環境保



「ロータリーの友」1970 年 1 月号」

全委員会にかかわる部分に関しては、江戸時代は、かまどの灰まで再利用していたことなど、当時の人たちは、「環境に優しい生活」をしていました。職業奉仕委員会も環境保全委員会も、そのベースは日本古来から存在するのではないかと考えています。栃木ガバナーの意向でもある「SDGs」の推進も、職業奉仕の重要な部分だと考えます。「地球は親から与えられたものではない。祖先からの授かりものでもない。子ども達から借りているのだ。」という、ネイティブ・アメリカンの言葉があります。私たちロータリアンは、自身の職業を通じ、地域や社会に貢献することが職業奉仕ですが、地域や社会の環境を次世代以降に健全に引き継ぐ事業を行うことも、職業奉仕の重要な部分だと思えます。

②「意見交換会形式」の会議・セミナー開催

「職業奉仕へのご理解をすすめる方法」として、今期は地域ごとに「クラブ職業奉仕委員長」の皆様にお集まりいただき、「意見交換会形式」の会議・セミナーを開催いたします。多摩・武蔵野分区、沖縄分区、中央・北・東分区の 3 地域で行い、クラブ職業奉仕委員長の皆様にご参加いただきやすいようにします。内容は、委員長それぞれのご意見や疑問点、クラブ内での職業奉仕等の勉強会の方法や苦勞されている点など、職業方針に関連することすべてに関して、意見交換を行います。第 1 回目の意見交換会は、9 月 29 日（金）沖縄分区で開催いたします。また皆様からいただいた疑問点に関しては、委員会で検討の上、1 月の職業奉仕月間までに各クラブに報告させていただきます。

●「決議 23-34」

2022 - 23 年度職業奉仕委員会により、「奉仕の理念を未来へ繋ぐ」が発行されました。同書にも「決議 23-34」について、詳しく記載されています。発行・配布が年度末であり、今年度も引き続き「決議 23-34」へのご理解を広



めていきます。「決議 23-34」が、なぜ決議されたか？その経緯、「決議 23-34」の内容、それがなぜ「職業奉仕」にかかわってくるのか？日本古来からの職業奉仕の考え方とともに、卓話の際の資料としてご提供させていただきます。1 年間よろしくお願ひします。

2023-24 年度 地区社会奉仕委員会の活動

～クラブの社会奉仕活動を地区ウェブサイトへ登録してください！～

地区社会奉仕委員長 八木 敏廣（東京新宿 RC）

今年度の地区社会奉仕委員会の方針として、原点に戻り、委員会独自の新しい事業は行わず、地区内各クラブの社会奉仕委員会をサポートし、情報提供を行う事に重点を置きたいと思っております。継続事業である「高校生の職業体験」は引き続き取り組み、地区の各委員会との連携した活動を行う予定です。

①地区ウェブサイトの社会奉仕活動紹介の充実

地区ウェブサイト内に掲載されている各クラブの社会奉仕活動紹介ページの充実を図ります。直近一年間の各



クラブが行った第 2580 地区ウェブサイト社会奉仕活動紹介ページ社会奉仕活動を地区ウェブサイト上に紹介します。地区内全 72 クラブがそれぞれ 1 件のプロジェクトを掲載することを目標とします。各クラブへ地区社会奉仕委員が依頼する予定です。ご協力をお願いします。

現在地区が採用している「地区ウェブサイト奉仕活動ページ掲載情報」をベースとして、改善を図ります。各クラブより提出された資料は、随時更新致します。地区ウェブサイトのクラブの奉仕活動の掲載情報

地区ウェブサイト奉仕活動ページ掲載情報	
Rotary 第2580地区	
提出先： 国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所 office@rd2580.org	
クラブ名	
タイトル	

地区ウェブサイト奉仕活動ページ掲載情報シート（昨年度版・A4 縦）

には、クラブのウェブサイトへリンクを貼ることが出来ます。ぜひクラブの広報活動として利用して下さい。

②高校生を対象とした職場体験の継続

当事業は東京都と国際ロータリー第 2580 地区及び第 2750 地区との協定により、インターンシップ事業を通じて、生徒に望ましい勤労観、職業観を身に付けさせると共に、主体的に進路を選択決定する能力、態度を育むキャリア教育を支援する事を目的としています。コロナ禍終息に伴い、東京都教育庁インターンシップ担当者から令和 5 年度の企画案を入手しました。現在までの処、荒川工科高等学校（定時制）より講和と実地の希望が届き、講和は 2023 年 6 月、実地は 7 月に行われました。ご協力頂きましたクラブの皆様には感謝申し上げます。（当事業は地区社会奉仕委員会より地区職業奉仕委員会へ移管する予定で調整中です。）



③地区補助金委員会との連携

地区財団補助金委員会との連携を密にして各クラブの地区補助金申請をサポートします。社会奉仕委員会は、「奉仕事業の掘り起こし支援」を行い、「補助金申請手続きの支援」は財団補助金委員会の役割とします。財団補助金委員会と協力して、役割分担を明確にして、事業を進めます。各クラブから、2023-24 年度クラブ調査用紙がガバナー補佐宛に提出されており、その回答書を踏まえて各クラブに対する個別の支援策をガバナー補佐と協議して、サポートを行っていききたいと思います。

☆ 8 月の主な予定

- ・ 8 月 5 日（土）～ 6 日（日） 於 つくば国際会議場
世界米山学友による世界大会「再会 in 関東」
※ 4 日（金）前夜祭開催あり
- ・ 8 月 6 日（日） 於 那覇市ぶんかテンプス館
インターアクト年次大会
- ・ 8 月 6 日（日）～ 8 月 15 日（火）
青少年交換来日学生サマーキャンプ
※ 12 日（土）～ 青少年交換派遣予定学生合流
- ・ 8 月 22 日（火） 於 国立オリンピック記念青少年総合センター
RLI DL・DL ブラッシュアップ講習
- ・ 8 月 28 日（月） 於 東天紅上野店
在京クラブ活性化ワークショップ「会員増強と DEI」

◇ ロータリーの友掲載情報（2023 年 8 月号）

- p.4 RI 会長メッセージ「思いやりの心で行動しよう」
メンタルヘルスへの取り組みとその方針
- p.7 特集 生涯の友が見つかる場所へ
ロータリーで見つけた友情とその出会い
- p.16 メルボルン国際大会レポート
Imagine What's Next
- p.40 エバンストン便り
「研修」から「ラーニング」へ
- p.60 この人訪ねて
藤原恵子さん（岡山西 RC）
- p.65 SPEECH「語り合い次につなげる」
（株）くつろぎ宿 深田智之氏



国際奉仕で世界のロータリーを体感しよう！

～まずは地区国際奉仕委員会にお声かけください～

地区国際奉仕委員長 吉田 弘和（東京麹町 RC）

今年度の国際奉仕委員会は11名のメンバーで、区内の国際奉仕活動の活性化に一丸となって取り組みます。下記の方針の下、それぞれのクラブの実情に応じ、寄り添い伴走しながら進めていきたいと考えています。少しでも興味あれば、まずはお声かけください。

●それぞれのクラブの事情に寄り添います

当地区には、グローバル補助金案件を何度も取り組んだ経験豊かなクラブがある一方で、多くのクラブが、「興味はあるけど何をどう始めていいか解からない。」「少人数で話し合っているがクラブ全体の合意に至らない。」「相手クラブと相互信頼をどう築けばいいのか迷っている。」等、様々な状況があります。我々委員会は個々のクラブの状況を教えて頂くことから始め、一緒になって課題解決を図り進めていきます。相手クラブとの折衝や RI への申請、奉仕プロジェクトの特性に応じた先行事例の紹介など、具体的なレベルで一緒に考え、伴走します。

●グローバル補助金奉仕活動以外の色々な国際奉仕

国際奉仕と言うと、グローバル補助金（RI の審査の下、クラブ拠出額、地区補助金に加えて80%のグローバル補助金の上乗せ）を使った大型案件に、スポンサークラブとして参画することをイメージされますが、実はその他にも色々な形態があります。「RI の関与がない中で相手国と少額のプロジェクトを始める。」「グローバル補助金案件にスポンサークラブとしてではなく一拠出者として参画する。」「具体的な奉仕プロジェクトを始める前にまずは相手国・クラブと交流を深める。」等、そのアプローチも様々です。各クラブのお考え、体力、資金力に応じた選択肢を模索することから始めませんか？

●グローバル補助金の活用

グローバル補助金案件の場合は、相手クラブ（実施クラブ）の経験や実行力がポイントになります。RI の審査基準である測定可能性、継続可能性、ガバナンス（内部統制）に加え、相手クラブの国際交流に向けた思考や相性を見極めておく必要があります。しっかりした相手クラブであれば、RI 申請も相手クラブ主導で進めてもらい、日本側の負担感も少なく、国際交流に注力することができます。各種補助金の加算があ

りますから、例えば、クラブから50万円の拠出で、1000万円規模の奉仕活動が実現可能です。現地に行き、相手クラブと共に奉仕プロジェクトの成果に感銘すれば、相互信頼が急速に深まります。

●重点分野に「環境」が加わりました

国際奉仕プロジェクトは、通常ロータリーの重点分野が対象になります。特にグローバル補助金の場合は重点分野であることが要件となります。重点分野は従来6つありましたが、2年前に「環境」が加わりました。従前は「医療」分野のグローバル補助金案件が圧倒的に多かった訳ですが、今後は「環境」への傾斜が期待されます。「環境」分野では、例えば近隣国で捨てられたペットボトルが海をわたり、マイクロプラスチックとなって、自国の海洋汚染になるなど、国を跨ることが多く、それ故、従来とは異なるアプローチが必要です。世界のロータリーでは「持続可能環境アクショングループ（ESRAG）」がその研究をリードして、先行事例も増えてきています。地区国際奉仕委員会では、今年度、それら研究成果や先行事例を学び、地区内でも活用できるよう情報発信に努めます。

●国際奉仕を通じて世界のロータリーを体感

ロータリーには、ローターアクターを含め、世界中に130万人超の仲間がいます。異なる文化や言語、社会制度など多様性に満ち溢れています。そんな仲間が共通の理念に基づいて行動を起こし、親睦を深めることができる。まさしく世界組織の醍醐味です。国際奉仕ならそんな経験が簡単にできます。交流することで世界観が広がります。個々の親睦の積み重ねが世界平和を築きます。国際奉仕を介した交流、固定概念にとられない柔軟な考え方を養えることから、積極的に参画いただきたいと願っています。皆さん、国際奉仕活動に取組み、相手クラブと共に一緒に世界のロータリーを体感しませんか？

※参考 近年のグローバル補助金奉仕案件実績

東京荒川 RC 前立腺レーザー技術導入（モンゴル）
東京セントラルパーク RC 医療器具寄贈（タイ）
東京ワセダ RC 超音波診察機寄贈（ミャンマー）
東京麹町 RC 口唇口蓋裂治療支援（インドネシア）

メンタルヘルスとは何か ～基本的な概念と社会の現状～

医学博士・産業医 矢島 新子（東京神田 RC）

私は20年近く、外資系投資銀行をはじめ大手保険代理店から中小企業など20社を超える企業の産業医をしています。特に「精神疾患」とまで行かない病気の少し手前の方も含め、メンタルヘルス不調の社員への対応は年間1000件近くに上ります。このシリーズがメンタルヘルスについて多くの方に正しく理解、対処していただく一助になればと思います。

●精神障害の患者は増加の一途

ここ15年で精神障害（うつ病など）の患者は急増し、令和3年には、総患者数が1720万人に上り、気分障害患者数は過去10年で、約2-2.5倍になりました。昔より軽症化し治療薬の副作用も軽くなったこと等で外来患者が増え、就労しながら社会生活を送っている治療中の人も増えました。また、自殺も大きな問題です。2022年に2.1万人で交通事故死（年々減少し2600人程度）の8倍以上です。自殺者の4割ほどがうつ病だったとのデータもあり、周囲が気づいて適切に受診、治療につながっていたら防止できた可能性が高く、自殺予防は大切な課題です。

●精神疾患・治療へのスティグマ

日本では諸外国に比べ、未受診のうつ病患者が多いという調査結果があります。背景には精神疾患や治療へのスティグマ（偏見）が強いことがあります。精神科が「メンタルクリニック」などと呼ばれるようになり、以前より受診の心理的敷居は下がったというものの、自分がそんな病気になるわけがない、信じたくないという思いから受診しない人も依然として目につきます。家族や友達から薬漬けになると忠告された等と言って、受診しないこともあります。

●メンタルヘルスとは

厚生労働省の「労働者の心の健康保持増進のための指針」では「ストレスや強い悩み、不安など、労働者の心身の健康、社会生活及び生活の質に影響を与える可能性のある精神的及び行動上の問題を幅広く含むもの」とされ、人の心身の健康や生活に影響を及ぼす何らかの問題のことで、広い定義を持っているおり、さまざまな視座で考える必要があります。

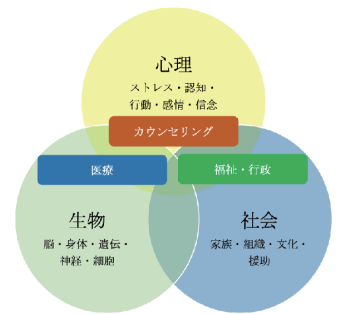
●メンタルヘルス不調の要因

メンタルヘルス不調の人と接したときに、「原因は」と単一要因を探す傾向があります。しかしメンタルヘ

ルス不調の要因は1つでなく、様々な要因が影響し発症することがほとんどです。生物・心理・社会モデルを紹介します。

親子・夫婦関係の問題、また社会的な生き物であ

る人間は、職場の環境や人間関係など社会的な生活が崩れると辛いものです。次に心理的要因があります。物事の捉え方で感情が変わるといいますが、コップに半分まで水が入っているのを見て、「半分しか」水が入っていないとネガティブに捉えるか、「半分も」入っているとポジティブに捉えるかで気持ちは変わります。これは考え方や性格的な要素であり、精神疾患の心理的要因と考えられます。自尊心、ストレスを処理する能力、自分をコントロールする能力なども影響しますから、精神疾患を考える上では、こうした心理的要因も考えねばなりません。そして生物学的要因、脳の生物学的異常や遺伝子なども精神疾患に関わります。ADHD（注意欠陥・多動性障害）などの発達障害は、生まれながらの脳の異常であり、遺伝的な要素が強いです。また、歳を取ると脳が老化し、血管が細くなったり異常なタンパク質が溜まったりしますから、高齢者の精神疾患では生物学的要因は強くなります。時々、精神疾患を単に心理的なストレスだけで説明したり、脳の異常だけで説明したりする人を見受けますが、精神疾患には多因子が絡むため単純なものではないのです。またメンタル不調の治療についても、各因子を考慮した総合的アプローチが必要となります。生物学的問題については医療的アプローチ、心理的な問題はカウンセリング、そして社会問題は福祉、行政また職場での支援が必要となるのです。



Engle, G.(1977). 『The Need for a New Medical Model: A Challenge for Biomedicine, Science, New Series, 196, 4286.』より作成

矢島 新子（やじま しんこ）

1999年ロータリー財団奨学生としてパリ第一大学大学院留学、医療経済専攻。東京医科歯科大学医学部を卒業後、研修医を経て博士課程にて健康推進医学専攻。その間、WHOのコンサルタントとしてラオスで活動。産業医の活動の中、メンタルヘルスの重要性を痛感し東京女子医科大学女性生涯健康センター（閉院）にてメンタルケアを学びながら10年間外来を担当。ドクターズヘルスケア産業医事務所設立。産業医・保健師による産業保健サービス提供、特にメンタルヘルス対策、企業研修、休職・復職支援などを実施している。

著書「ハイスベック女子の憂鬱」洋泉社

「健診・人間ドッグはもうやめなさい」アーク出版 など多数

連載「メイクアップ」に行こう！①

「卓話」を聞きに来て下さい！興味深いテーマに触れる例会

東京北ロータリークラブ

●クラブ紹介

東京北ロータリークラブは、国内43番目、日本で初めてのアディショナルクラブとして誕生しました。創立総会は1950年8月3日、上野松坂屋結婚披露室で開催されました。スポンサークラブは、東京ロータリークラブです。現在、帝国ホテルにて毎週火曜日に例会を開催しています。



●今年度の方針

今年度の古谷恒夫会長は、東京北ロータリークラブの方針として、「ロータリー行事で交友、友誼の輪を広げよう」「Get The joy of Friendship」を掲げました。クラブが永続的に発展出来るよう、担当委員会に任せるだけではなく全員で会員増強と卓話者の発掘を行い、諸先輩方が70有余年に渡り築き上げた素晴らしいロータリーライフを楽しむことを提唱しています。

●東京北RC例会とは？

当クラブの卓話の特徴として、例会場である帝国ホテルで美味しい食事を頂くとともに、「卓話」を楽しみにしているという会員が多くいます。卓話は、プログラム委員会を中心として、会員でも候補者を推薦し、選定を行っております。

卓話の内容は、ビジネス、経済・世界情勢、医学・健康、文学・文化、音楽、スポーツなど、最新の話題

から、多様な興味深いテーマの話者を選んでいきます。新入会員のイニシエーションスピーチや、日本舞踊等やクラシックの歌唱や演奏もあり、様々なプログラムを用意しています。また今年度は、最近卓話にお呼びした卓話者の中から、特に人気の高かった方に再び登壇して頂く企画も検討中です。また記念例会やオープン例会を実施予定で、相応しい記念となる卓話になるように、人選を進めています。

2023年10月10日(火) 第3500回記念例会

2024年1月23日(火) オープン例会

是非例会の卓話を多くの人に聞きに来て頂きたいです。著名な卓話者による卓話や興味深いテーマは、最高の学びです。皆様のメイクアップを心よりお待ちしております！

●8月～9月の卓話予定

8/1 (火) 塩川 満章様 [塩川カイロプラクティック治療室]

8/8 (火) 田口 直樹様 [(一社)日本UAS産業振興協議会]

8/15 (火) 年間休日

8/22 (火) 米木 昌史様 [株式会社シルクレーシング]

8/29 (火) 江幡 桃花さん

[国際ロータリー青少年交換派遣学生]

9/5 (火) 小林 宏之様 [航空評論家]

9/12 (火) 原田 曜平様 [学校法人芝浦工業大学]

9/19 (火) 武内 陽子会員

[東京北 Exchange ロータリー衛星クラブ 議長]

9/26 (火) 半場 慎一様

[ロータリーの友地区代表委員 (東京新都心 RC)]

※卓話者は変更される可能性があります。卓話タイトル及び最新情報は、ウェブサイトをご覧ください。



クラブデータ：東京北 RC

例会日 毎火曜日 12時30分～13時30分

例会場 帝国ホテル

(東京都千代田区内幸町1-1-1)

ビクターフィー 6,000円

(軽食 5,000円)

ウェブサイト <http://tnrc.gr.jp/>

※大人数でメイクアップの際は、事前にご相談下さい。



掲載クラブを募集中！自薦他薦は問いません。興味深い取り組みをされているクラブがあれば、ぜひ応募をお願いします！

Zone 1A,2&3 ポータルサイト活用のお願ひ

地区幹事 横山 義文 (東京北 RC)

全世界のロータリークラブの数は、2023年5月現在37,075クラブあり、520地区あります。そしてそれぞれの地区は、34のゾーンのいずれかに属しています。日本には、1Aと2、3の3つのゾーンがあります。現在、日本のロータリークラブが属しているゾーンから国際ロータリー理事会へ、RI理事として、佐藤芳郎氏(岡山南 RC / 第2690地区)が選出されています。

佐藤芳郎 RI 理事は、日本の3つのゾーンのポータルサイト活用を提唱されています。このポータルサイトには、日本のロータリークラブが属するゾーンの「今年度の活動指針」、10月24日の「世界ポリオデー」、2023-24年度 RI テーマである「世界に希望を生み出そう(Create Hope in the World)」に関する情報、会員減少問題に取り組む「Grow Rotary」、そして「D.E.I.」



Zone1A・2&3 ポータルサイト <https://www.japanrotary.club/> について、計画の提出や実施報告のみならず、それぞれの分野において、幅広い知識が得られるようなウェブサイトになっております。地区・分区役員、地区委員のみならず、ぜひ地区内会員にご覧になっていただきたい内容となっており、活用をぜひお願いします。



「World Polio Day」

<https://www.japanrotary.club/worldpolioday>

「世界ポリオデー JAPAN」

<https://www.endpoliorotary.club/>

ポリオに関するリソースや昨年度の実績、今年度の世界ポリオデーの実施計画の提出とその共有、フォトコンテストの応募が出来ます。

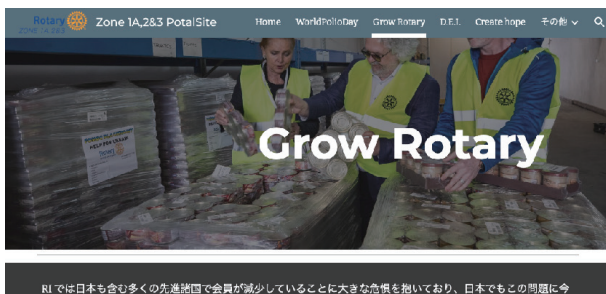
※ガバナー月信7月号「地区ロータリー財団」記事でも紹介済



「Create Hope」

<https://www.japanrotary.club/create-hope>

2023-24年度 RI テーマである「世界に希望を生み出そう(Create Hope in the World)」の計画事例と成果の報告を会員同士で共有するページ。ぜひマッキナリー会長イニシアティブを反映した実施事業の計画をご提出ください。



「Grow Rotary」

<https://www.japanrotary.club/growrotary>

多くのロータリークラブで問題になっている会員の減少について、その課題を情報共有するページ。クラブでの会員増強への取り組みを投稿して下さい。



「D.E.I.」

<https://www.japanrotary.club/dei>

多様性・公平さ・インクルージョンへの取り組み D.E.I. を実践するためにリーダーは何を伝え、何を変えなくてはならないのでしょうか？クラブの行動指針をはじめ、資料をご覧いただけます。各クラブの取組実績や計画を投稿して下さい。

地区大会開催のお知らせ

2023-24年度の地区大会の概要が決定しました。本年度は、栃木ガバナーが所属する東京北ロータリークラブの例会場である帝国ホテルで、2月28日(水)29日(木)に開催します。皆様を楽しめる企画を現在検討中です。決定次第、皆様にお知らせいたします。



○主なスケジュール

- 2/28 (水) 大会第1日目 (於：帝国ホテル)
 夕方 RI 会長代理歓迎晩餐会
 2/29 (木) 大会第2日目 (於：帝国ホテル)
 昼 新入会員昼食会
 PHS とメジャードナーの集い
 午後 本会議
 夕方 懇親会

ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー開催のお知らせ

この度、10月24日の世界ポリオデーにあわせて、ポリオ根絶チャリティーディナーパーティーを開催することになりました。講演者として、新型コロナウイルス感染症対策分科会長として活躍された尾身茂氏をお招きします。尾身氏は、1990年代にWHO 太平洋地域事務局に勤務され、西太平洋地域においてポリオの根絶対策などで陣頭指揮を取られたご経験もあります。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2023年10月24日(火) 18時開始
 場所 帝国ホテル「光の間」
 会費 30,000円
 ドレスコード セミフォーマル
 ※詳細なご案内は、後日クラブ宛に送付致します。

講演者紹介

公益財団法人結核予防会 理事長
尾身 茂 (おみ しげる)

略歴

1978年自治医科大学卒。1990年よりWHO西太平洋地域事務局に勤務。西太平洋地域においてポリオの根絶対策などで陣頭指揮。1999年WHO西太平洋地域事務局長就任後、SARSの制圧及び各加盟国の地域医療対策や結核対策等で陣頭指揮。2009年よりWHO執行理事。2014年4月、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)理事長。2020年7月、新型インフルエンザ等対策有識者会議 新型コロナウイルス感染症対策分科会 会長。2022年4月より公益財団法人結核予防会 代表理事、JCHO名誉理事長。2022年6月より公益財団法人結核予防会 理事長 現職。



2580 地区クラブ数・会員数

クラブ数 72RC
 正会員数 2,874名 (内女性251名・8.7%)
 [2023年7月1日時点(前年度から継続の方)]
 ○前年度正会員数
 2022年7月1日:2,831名 (内女性232名 8.2%)
 2023年6月末日:2,874名 (内女性251名 8.7%)
 入会者数:331名 退会者数:288名 純増:43名

[哀悼] 謹んで哀悼の意を表します
 東京西北ロータリークラブ
 中島 久彰 (なかじま ひさあき) 会員
 ご逝去日 2023年5月9日 享年82
 入会日 2017年1月16日
 株式会社JUNTEN BIO 常勤監査役

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

▶マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

3回 岡本 隆一 [東京ベイ]
 2回 服部 浩美 [東京本郷]

▶ベネファクター

石渡 秀雄 [東京ベイ]

▶米山功労者・メジャードナー

17回 張 碧華 [東京お茶の水]
 11回 安里 政晃 [那覇]

▶米山功労者・マルチプル

6回 大谷 昌義 [東京新宿]
 4回 栗山 義広 [東京臨海西]
 5月31日分まで 敬称略、順不同